

STEP3 アバターの設定を伝えるポーズを描こう

STEP2 で考えた設定とデザインをもとに、キャラクターの個性を伝えるポーズを表現しましょう！
キャラクターの性格や、いつもいる場所やどんな仕事をしているかなど、「何かをしている場面」をイメージしてポーズを考えると、キャラクターの魅力（みりょく）が伝わりやすくなります。
言葉で説明しなくても、見た目だけでキャラクターの個性が伝わるポーズを考えましょう。

性格



場面



演出・効果



見本

STEP3 で描くポーズは
作品展に申しこむと
アクリルスタンドになって
ギャラリーに展示されます。

展示されることをイメージしながら
描きましょう。

かならずアタムのテンプレート
を使用して描きましょう。

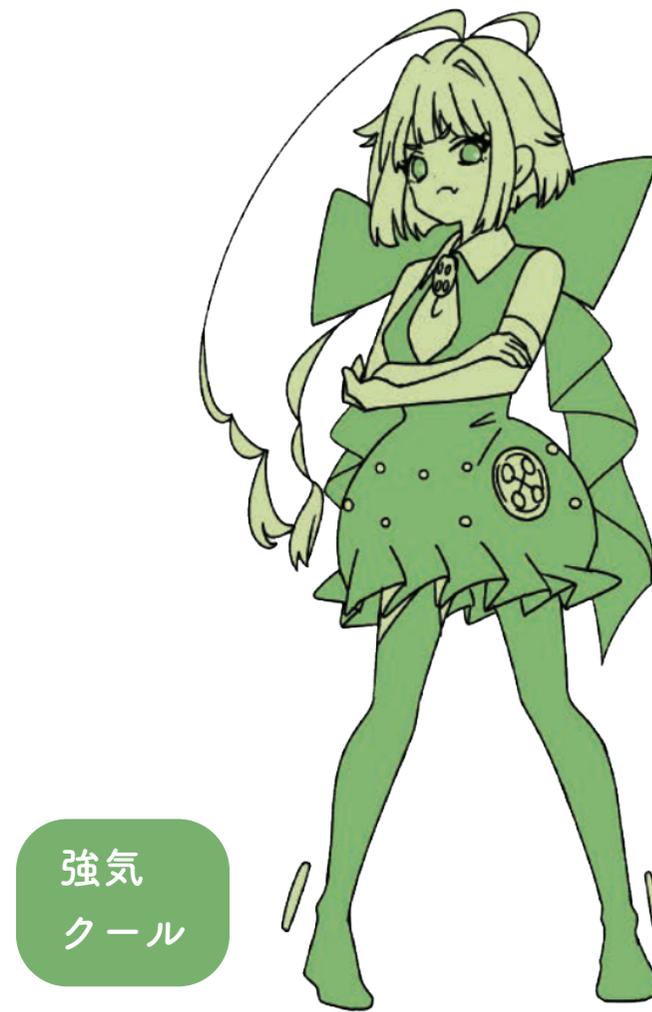
こんな風になるよ！

展示されるの
楽しみだな～



性格に合ったポーズを描こう

なにげない立ち方や歩き方にも個性が表れます。「自分のキャラクターはどんなふうになって、どんなふうになるだろう?」と、キャラクターの性格をくわしく想像しながらポーズを決めましょう。



場面にあったポーズを描こう

自分のキャラクターがどこにいて、何をしているかということを考えながらポーズを決めましょう。
設定した職業がある場合は、その職業に似合うポーズを考えましょう。

アイドルが
ライブのステージで
歌って踊っている
ポーズ



サイボーグが
宇宙で
敵を待ち構えている
ポーズ



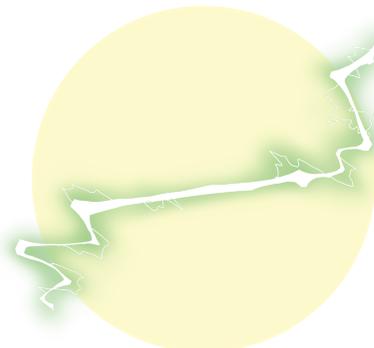
背景・効果（エフェクト）・文字 を使って演出しよう

背景や効果（エフェクト）、文字を使用すると、キャラクターの世界観をよりくわしく表現し、見栄えよくすることができます。必要と思う場合は取り入れてみましょう。



背景

キャラクターのいる場所、
場面を伝えます。



効果（エフェクト）

キャラクターをより魅力的
（みりょくてき）に演出し
ます。

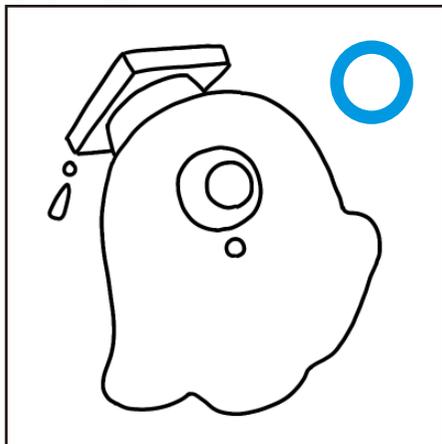


文字

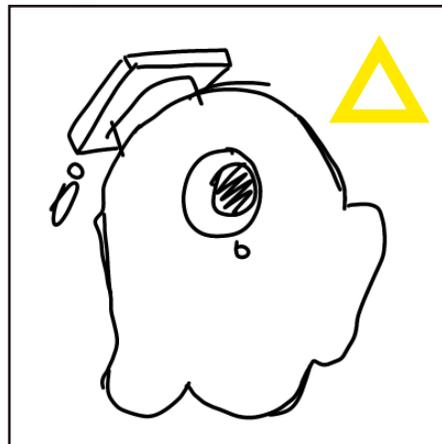
場面にあわせてイメージを
伝えるロゴを配置します。

「線」「塗り忘れ・消し忘れ」に注意して完成度を上げよう

丁寧に描いた線



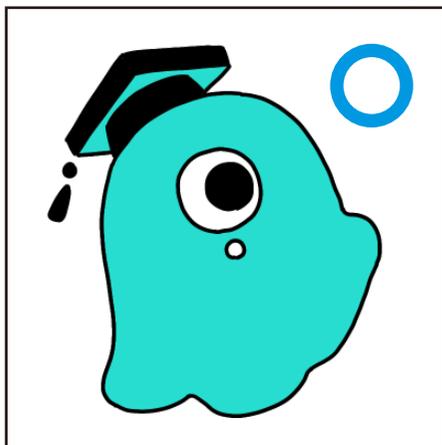
粗い線



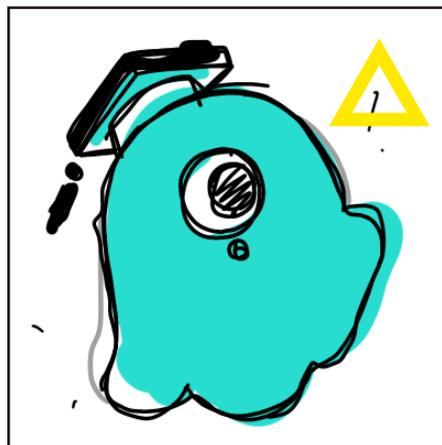
丁寧に描いた線・粗い線

粗い線が最後まで残ってしまうと、見る人に「この絵は完成していない」と捉えられてしまいます。1枚の完成した作品として見せるために、粗い線は最後まで残さないようにしましょう。

塗り忘れ・消し忘れが無い例



塗り忘れ・消し忘れがある例



塗り忘れ・消し忘れ

塗り忘れや消し忘れも完成度を落としてしまう原因になります。忘れていた箇所が無いのか、念入りに確認しましょう。